



「最期まで」
 徐々に食べられなくなって老衰していく看取り、急変や事故、感染症などでの突然のお別れもあり得るという事を理解し、すべての方が人生最後の時期の生活である事を常に頭に入れて、その方の今を大事にする。

「気持ちよく」
 オムツでお尻が蒸れて暑い痒い、オムツの中に排泄して気持ち悪い状態、機械浴で物のように洗われる怖い入浴、ベッド上でむせやすく食べにくい姿勢での食事、寝かせきりや拘束等の過度な行動制限、羞恥心やプライバシーの侵害された生活、嫌な言葉かけや威圧的な態度からくる生活上の不快感等を最小化出来るように関わり、気持ち良い、快適な状態を増やす。

「主体的で」
 その方の意思や希望、自発性を尊重する。

「その人らしい生活」
 その方の個性、生活習慣、趣味や嗜好、生活リズム、相性、馴染みの関係や物を尊重する。

前向きな思考を持った 様々な才能が集まる採用活動	実践のための 環境作り		事業が継続できる財政
	成長できる環境	働きやすい職場環境	
<ul style="list-style-type: none"> ホームページブログの活性化とSNSによる拡散→ホームページブログは各事業所の職員が行う事でリアルな情報を発信 SNSでの業界を明るくする前向きな毎日発信（採用活動の事だけでなく、他の事業所に役立つ情報発信し注目度を集める事で中長期目標と採用活動の両立）→苑長 SNSにより実施。職員の SNS 発信等も奨励。 駒場苑チャンネル等 YouTube を使った事業所の様子が分かる動画の発信。 採用前の体験でのマッチング 	<ul style="list-style-type: none"> 介護百人一首（カレンダー）→駒場苑グループで大事にしたい介護の考え方、理論、技術の周知 ポスター研修→規定研修の最低限のルールの周知と理解度チェック YouTube 等、研修動画の充実 研修委員会企画研修 図書コーナー→欲しい介護関係の本をリクエストすれば図書コーナーに設置。読書感想カードで情報シェアで年1回ギフトカード 1,000 円分支給 個人シートによる定期面談→個人目標の設定と振り返り等 資格取得支援→介護職は介護福祉士、実務者研修、初任者研修は受験費、受講費全額負担。その他の介護関係の資格は研修報告書での情報シェアで処遇改善加算（9・3月）より全額負担 自己啓発支援手当→介護職はプライベートで研修に参加した場合は、研修報告書で情報をシェアで処遇改善加算（9・3月）より研修費全額支給（無料の場合も 3,000 円） 他法人の取り組み、情報シェア→介護職が他法人の事業所に見学や体験に行き、その取り組みの情報を研修報告書にて情報シェアで処遇改善加算（9・3月）より 1,000 円支給 	<ul style="list-style-type: none"> 間接的な業務の役割分担化、効率化→用務員、清掃員、ボランティアさんによるサポート。ICT を使ったパソコン業務、記録の合理化、不要な日課、業務の廃止等。 マッサージチェア→体のメンテナンスやリラクセスに ファイトステーション→栄養ドリンクをコンビニより安く購入できる オフィスグリコ→お菓子や軽食を手軽に購入できる 自動販売機→手軽に飲料を購入+備蓄 漫画コーナー→気分転換に。これらを1階に集める事で人が集まる場へ 全館 wifi 完備→職員の個人スマホも利用可 駒場苑食堂の職員食のごはん味噌汁おかわり自由化 アンガーマネジメントの浸透→職員間の怒りの感情のコントロール。上司⇄部下、先輩⇄後輩のハラスメント、威圧的な要求、陰湿な要求等の予防、防止 やりたい事をやる日→定期的にフリーの日を支給。その日は日頃の業務以外でやりたい事を企画し、実施して良い日とする 地域との交流、繋がり→地域イベントに参加 BCP 計画による災害対策と感染症対策 	<ul style="list-style-type: none"> 各事業所毎の経営目標の設定 「特養ショート駒場苑稼働率 96%」 「デイサロンこまば 1 日平均ご利用者数 22 名」 「グループホームこまば稼働率 99.5%」 「ケアプランセンターこまば月平均ご利用者数 90 名」 「ヘルパーステーションこまば月延べ人数 1000 名」 チャリティ企画→チャリティ介護百人一首カレンダー 発信による営業活動→ホームページブログと SNS による拡散 補助金、新規加算の取得努力 目標実績に合わせた人件費の適正化 2059 年度の建物改築工事のための積み立て、また 59 年まで建物を保つための設備投資を計画的に行える財政状況になっている。